

指伝話は、3種類（カードタイプ・ことばタイプ・文字盤タイプ）。  
 使い方はあなた次第！「余白」のある自由度の高いアプリです。  
 すべての人にとって大切な「コミュニケーション」のお手伝いとなり、  
 笑顔のきっかけになることを願っています。



## 指伝話プラス

### ことばタイプ

登録したことをタップ、  
音声で伝えます



## 指伝話メモリ

### カードタイプ

登録した絵・写真・文字を  
 タップ、音声で伝える標準  
 動作のほか、動作を設定  
 することで、出来ることが広がります



## 指伝話文字盤

### 文字盤タイプ

介助者と一緒に使う他、  
 五十音表としてタップや  
 スイッチ操作もできます



## アクセシビリティ

さまざまな操作方法

## 指伝話メモリ

さまざまな使い方

### スイッチコントロール

体のわずかな動きを使い、  
 いろいろなスイッチを介して操作します。

### 音声コントロール

画面に触れずに、音声を使い  
 操作します。

### ポインティングデバイス

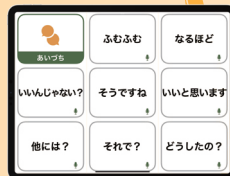
マウス・トラックパッド・視線入力  
 などを使って操作します。

### VoiceOver

ボイスオーバー

画面が見づらい人が、  
 指で画面に触れて  
 音声ガイドを聞きながら操作します。

### 音声での会話



登録したことを選び  
 流暢な音声でやりとり

### メッセージ



見やすい画面で  
 メッセージや  
 LINEを送受信



### 家電操作



赤外線リモコン装置や  
 スマート家電の操作

### 自分の声



コエステーション※で作った  
 自分のコエを使った会話  
 ※コエステ社が提供する  
 合成音声を作るサービス

### アプリ呼び出し



ベッド操作アプリ※など  
 アプリを呼び出して操作  
 ※パラマウントベッド社  
 「楽匠プラス」のベッド操作アプリ

### メモリーノート



思い出の写真で作る  
 笑顔の記録

### 音楽



Apple Music  
 にある音楽や  
 音量の操作

指伝話メモリ は、  
 文字の大きさ、色、写真や絵の活用など、  
 見やすい・理解しやすい・使いやすいカードを  
 自由にデザインできます。

例えば、  
 目が見えず体の動きがわずかな方が、音声ガイドを  
 聞きながらスイッチで操作するというような使い方、指伝話メモリなら可能です。

大切なことは機械ではなく機会です。

# 指伝話

ゆびでんわ

iPadで使うコミュニケーション・コンパニオン



## 公的支援について

日常生活用具給付等事業は、市区町村が行う地域生活支援事業の一つとして、障害者等の日常生活がより円滑に行われるための用具を給付または貸与することにより福祉の増進に資することを目的としています。この制度を活用することによって、指伝話コミュニケーションパックやスイッチ等を導入の際、お住まいの市区町村から補助を給付される場合があります。ご相談ください。



## お試しは...

カードタイプお試し  
RT「指伝話RT」



カードタイプ「指伝話メモリ」で作成でしたサンプル集です。指伝話RTでは作成はできませんが、タップやスイッチ操作でできることや操作感をお試しいただけます。お持ちの iPad / iPhoneでダウンロードしてください。

## 評価用機器の貸出

リハ担当や病院等を通じての機器貸出をご案内しています。Zoom説明を含めます。



## 指伝話アプリの基本動作環境について:

- 指伝話プラス・指伝話文字盤 iOS/ iPadOS 10以上。
- 指伝話メモリ(iPadのみ対応) iPadOS 10以上。
- ショートカットやアプリ呼び出しを利用する場合は、iPadOS 15以上。

マウス操作はiOS/iPadOS 13で対応。  
スイッチコントロールはiOS 14以上を推奨。

動作環境: iPad / iPadOS 15以降  
Apple M1 または M2チップ搭載のMac / macOS Monterey 12.1以降

\* スイッチ操作でお使いの場合の機器は別途オアシス結アソシエーツでセッティングできます。  
\* 通信を使う場合はWi-Fi環境が必要です。

iPadなら設置に場所をとらず、外出時も手軽に携帯できます。使用できます。

カードタイプを中心に、ことばタイプ・文字盤タイプの指伝話アプリを呼び出して、音楽操作など、日常生活に役立つ機能を持たせたカードセットをセッティング。日常基本会話集の他にAIスリーパーへの指示・メールやSMS操作のアシスタントを呼び出せます。従来の五十音表をベースにした意思伝達とは異なるアプローチで楽しくお使いいただけます。

